

校内研修計画

山梨市立後屋敷小学校

1 学校課題

平成31年（令和元年度）4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果を分析すると、国語及び算数における本校児童の正答率は全国平均の正答率を上回る結果となり、前年度までに身に付けるべき知識は概ね身に付いていると判断することができた。しかし、国語では、目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、まとめて書くことや漢字を文の中で正しく使うことに、算数では、図形の面積の求め方の説明を記述することや減法の計算の仕方を基に、除法の性質を記述することに課題があることが分かった。

児童質問紙調査によると、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」「学級みんなで話し合っていて決めたことなど協力して取り組み、うれしかったこと」について「ある」と回答した児童が全国・県と比較すると少なく、「達成感」を実感させるための工夫が必要だということが明らかになった。また、1日当たり10分×学年相当の時間は勉強しているが、「家で自分で計画を立てて勉強している」という項目がどちらかという当てはまらないという児童の割合が多いので、家庭学習の取り組み方についてももう少し具体的な方法を考えていく必要があると考えられる。

以上のようなことから、今年度も引き続き基礎的・基本的な内容を着実に理解させ、それをもとに、自ら考え、表現したり、応用したりする学習課題を積極的に取り入れていきたい。そして、課題解決のための手段や方法を考えながら取り組ませる指導を充実させ、児童の学ぶ力を伸張させたいと考え本主題を設定した。

2 研究主題

自ら考え、表現し、学び合う児童の育成
～授業の構造化と家庭学習の充実を通して～

3 主題設定の理由

本校では、平成30年度から、「やまなしスタンダード」を意識した授業づくりと、「家庭学習のすすめ～学びの甲斐善八ヶ条～」をもとにした家庭学習を推進・充実させる実践的な研究を行ってきた。授業づくりでは、授業改善のポイントを絞り、「どのクラスでも、どの先生でもやっていける授業スタイル」を意識し、研究授業や一人一実践に取り組んだ。家庭学習では、個人で目標をたて毎月カレンダーに学習の足跡を残し、保護者に八のつく日にチェックしてもらうことで連携を図ってきた。「どの教科でも、課題の提示→自力解決→交流→まとめの授業スタイル（後小スタイル）ができてきた。」「自力解決の時間では、子どもたちが自分の考えをノートに書けるようになり、交流では、ペアや全体の場で考えを発表することで、多様な考えを引き出すことができた。」「声のものさしや話し合いの話形を作成し、発達段階に応じた学び合いの工夫を考えることができた。」「家庭学習の学習メニューを提示したり、授業の終わりを家庭学習とリンクさせたりすることで、家庭での学習内容に広がりが見られた。また、帰りの会で「家庭学習スタンバイ」の時間を取り、その日に家庭学習で内容を伝えることで、家庭学習への意識づけができた。」などの成果があった。ただ、授業スタイルは確立できたが、自力解決での指導方法や交流の場での学習形態には課題が残った。今年度は、指導のねらい、表現の仕方、何のために、何について、どのような話し合いをするのかを明確にし、学び合う児童の育成をめざしての研究を行う。また、家庭学習では、まだまだ取組に個人差が見られることや、学習内容をもっと充実させる必要があると考え、今年度も、「家庭学習のすすめ～学びの甲斐善八ヶ条～」をもとにした家庭学習を推進・充実させる実践的な研究を行う。

4 研究の具体的内容与方法

(1) 児童の実態分析と指導法の改善

CRT（3．5年）の結果分析から、本校児童の実態把握をし、授業づくりの視点や指導法の共通理解を図る。

(2) 授業研究

授業研究による検証。

(3) 一人一実践の公開授業

一人一実践を公開し、授業改善と授業力の向上を図る。

(4) 今日の教育課題関連の学習会

(5) 学級力向上プロジェクト

学級力アンケート、学級力レーダーチャートを利用し、スマイルタイム、スマイル・アクションなどの手法を通して、学級力を高める。

(6) 学びの基礎となる学習環境づくり・朝の活動の取組

(7) 教育課程説明会の環流報告

年間校内研修計画

研究主任 山宮 由紀

月 日	主な内容	担当者	学年	T・C要請
4. 8	研究の方向性・全体計画について			
1 5	校内研究の全体計画について・ブロック研究			
2 2	研究主題に関わった研究・ブロック研究			
5. 1 3	研究主題に関わった研究・ブロック研究			
2 7	研修会（通知表機能研修）			
6. 3	研究主題に関わった研究・ブロック研究			
1 7	CRT検査の結果を踏まえた授業改善			
7. 9	学習会（スクールカウンセラーによる学習会）			
8. 2 1	教育課程還流報告・学習会			
9. 2	研究主題に関わった研究・ブロック研究			
3 0	ブロック研究			
1 0. 1 4	授業案全体検討			
2 8	「国語科」研究授業	雨宮 玲子	2年	○
1 1. 1 1	授業案全体検討			
1 1. 1 8	「算数科」研究授業	廣瀬 桃花	4年	○
1 2. 2	学級力向上の取組の成果と課題・			
1. 2 0	一人一実践の全体報告会・紀要作成に向けて			
2 7	研究のまとめ			
2. 2 4	来年度の方向性について・研究紀要作成			